

自然言語処理プログラミング勉強会 6-かな漢字変換

Graham Neubig 奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST)



かな漢字変換のモデル

日本語入力でひらがな列 X をかな漢字混じり文 Y へ 変換

かなかんじへんかんはにほんごにゅうりょくのいちぶ ・ かな漢字変換は日本語入力の一部

• HMM や単語分割と同じく、構造化予測の一部



選択肢が膨大!

かなかんじへんかんはにほんごにゅうりょくのいちぶ

かな漢字変換は日本語入力の一部良い!

仮名漢字変換は日本語入力の一部 良い?

かな漢字変換は二本後入力の一部 悪い 家中ん事変感歯に

図御乳力の胃治舞 2121

. . .

• 良い候補と悪い候補を区別するには?

確率モデル!

$$\underset{Y}{\operatorname{argmax}} P(Y|X)$$



系列生成モデル (HMMと同じ!)

• 確率をベイズ則で分解

$$\underset{\mathbf{Y}}{\operatorname{argmax}} P(\mathbf{Y}|\mathbf{X}) = \underset{\mathbf{Y}}{\operatorname{argmax}} \frac{P(\mathbf{X}|\mathbf{Y})P(\mathbf{Y})}{P(\mathbf{X})}$$

$$= \underset{\mathbf{Y}}{\operatorname{argmax}} P(\mathbf{X}|\mathbf{Y})P(\mathbf{Y})$$

かなと漢字の関係を記述「かんじ」は「感じ」になりやすい

前の漢字と次の漢字の関係を記述「漢字」は「仮名」に続きやすい

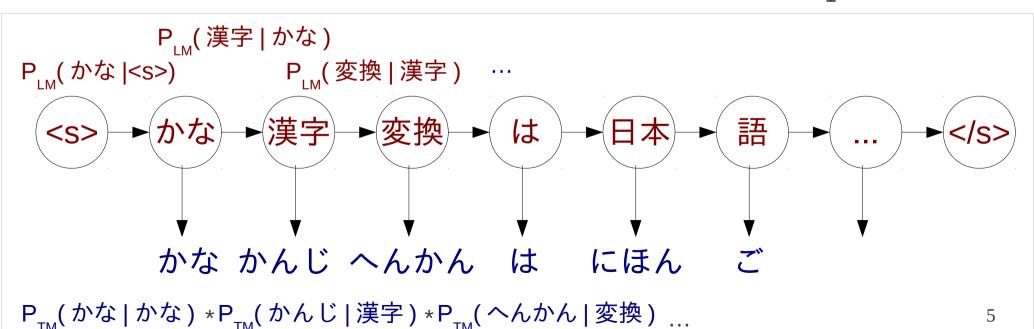


かな漢字変換の系列モデル

- ・ 漢字→漢字の言語モデル確率
 - 2-gram モデル
- ・ 漢字→かなの変換モデル確率

$$P(Y) \approx \prod_{i=1}^{l+1} P_{LM}(y_i|y_{i-1})$$

$$P(X|Y) \approx \prod_{i=1}^{l} P_{TM}(x_{i}|y_{i})$$





系列生成モデル



先週聞いた話と同じ!



構造化予測



品詞推定 (HMM) とかな漢字変換 (KKC)

- 1. P(y_i|y_{i-1}) の確率はスパース(疎):
 - HMM: 品詞→品詞はスパースでない(平滑化なし)
 - KKC: 単語→単語はスパース(平滑化あり)
- 2. 生成確率
 - HMM: 全ての単語・品詞組み合わせを考慮
 - KKC: 学習データに現れる組み合わせのみを考慮
- 3. 単語分割
 - HMM: 1 単語→1 品詞
 - KKC: 複数のひらがな→複数の漢字



1. スパースな確率の扱い

• 扱いは簡単: 平滑化された 2-gram モデルを利用

$$\begin{array}{ll} & 2\text{-gram:} & P(y_i|y_{i-1}) \!=\! \lambda_2 P_{\mathit{ML}}(y_i|y_{i-1}) \!+\! (1\!-\!\lambda_2) P(y_i) \\ \\ & 1\text{-gram:} & P(y_i) \!=\! \lambda_1 P_{\mathit{ML}}(y_i) \!+\! (1\!-\!\lambda_1) \frac{1}{N} \end{array}$$

チュートリアル2の確率を再利用



2. 考慮する変換候補

• 翻訳確率は最尤推定

$$P_{TM}(x_i|y_i) = c(y_i \rightarrow x_i)/c(y_i)$$

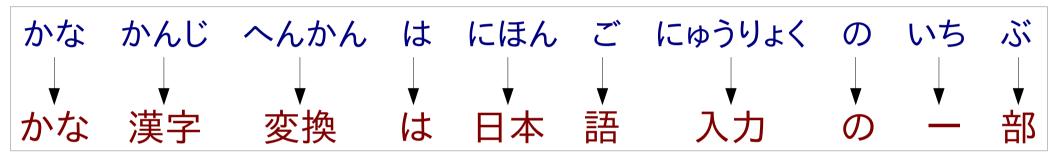
- チュートリアル5のコードを再利用
- つまり、学習データに現れるもののみを考慮

→ 効率的な探索が可能



3. かな漢字変換と単語

• かな漢字変換を「単語」で考えるのが直感的



- 2つの動作が必要:
 - ひらがなを単語へ分割
 - ひらがな単語を漢字へ変換
- この2つの動作をビタビアルゴリズムで同時に行う



戻ってきたぞ!





- ビタビアルゴリズムを利用
- グラフの形は?



• ビタビアルゴリズムを利用

か な か か h 6 0:<S> 1: 書 3: 書 8:書 5: じ 2: 無 9:ん 4:ん 6: ^ 7:ん 5: 時 1: 化 2: な 3: 化 6: 減 8: 化 2: 名 6: 経 3:か 1:か 8:か 10: 2: 成 3: 下 8: 下 2: かな 4: 管 7: 変 9: 管

3: 中

4: 感

2: 仮名

5: 感じ 8: 変化

5: 漢字 9: 変換 13

9: 感



• ビタビアルゴリズムを利用 か か な か h 1: 書 3: 書 8: 書 0:<S> 5: じ 2: 無 9:ん 4:ん 6: ^ 7:ん 1: 化 2: な 3: 化 5: 時 6: 減 8: 化 2: 名 6: 経 3:か 1:か 8: か 10: 2: 成 3: 下 8: 下 2: かな 4: 管 7: 変 9: 管 2: 仮名 9: 感 4: 感 3: 5: 感じ 8: 変化 5: 漢字 9: 変換



• 0:<S>で探索開始

かなかんじへんか

S["0:<S>"] = 0





0→2のスパンをまたがる単語を全て展開か な か ん じ へ ん か ん

```
0:<S> 1: 書
```

1: 化

1: か

1:下

2: かな S["1: かな"] = -log (P_E(かな|かな)*P_{LM}(かな|<S>)) + S["0:<S>"]

2: 仮名 S["1: 仮名"] = -log (P_F(かな | 仮名) * P_M(仮名 |<S>)) + S["0:<S>"]



1→2のスパンをまたがる単語を全て展開 かんじへ な 2: 無 **◄** S["2: 無"] = min(-log (P (な | 無) * P (無 | 書)) + S["1: 書"], 2: な 1: 化 -log (P (な | 無) * P (無 | 化)) + S["1: 化"], -log (P (な | 無) * P (無 | か)) + S["1: か"], 1:か -log (P (な | 無) * P (無 | 下)) + S["1: 下"]) S["2: な"] = min(2: かな -log (P_F(な | な) * P_{IM}(な | 書)) + S["1: 書"], 2: 仮名 -log (P_E(な | な) * P_{LM}(な | 化)) + S["1: 化"], -log (P_E(な|な)*P_{IM}(な|か))+S["1:か"],

-log (P_E(な|な)*P_M(な|下))+S["1:下"])



アルゴリズム



アルゴリズムの全体像

load *lm* load tm

for each line in file
do forward step
do backward step
print results

```
# チュートリアル 2 と同じ
# チュートリアル 5 と同じ
# tm[pron][word] = prob の形で格納
```

チュートリアル5と同じ # チュートリアル5と同じ



実装:前向きステップ

```
edge[0]["<s>"] = NULL, score[0]["<s>"] = 0
                                            # 単語の終了点
for end in 1 .. len(line)
  create map my_edges
  for begin in 0 \dots end -1
                                            # 単語の開始点
                                            # ひらがなの部分文字列を獲得
    pron = substring of line from begin to end
                                            # ひらがなの単語・変換確率を
    my\_tm = tm\_probs[pron]
    if there are no candidates and len(pron) == 1
                                            # 未知語ならひらがなをそのまま
      my_tm = (pron, 0)
                                            # 可能な単語を列挙
    for curr_word, tm_prob in my_tm
      for prev_word, prev_score in score[begin] # 前の単語とその確率に対して
        # 次のスコアを計算
        curr_score = prev_score + -log(tm_prob * P<sub>IM</sub>(curr_word | prev_word))
        if curr_score is better than score[end][curr_word]
          score[end][curr_word] = curr_score
          edge[end][curr_word] = (begin, prev_word)
```



演習課題



演習課題

- かな漢字変換プログラム kkc.py を作成 train-bigram.py と train-hmm.py を再利用
- テスト:
 - train-bigram.py test/06-word.txt > lm.txt
 - train-hmm.py test/06-pronword.txt > tm.txt
 - kkc.py lm.txt tm.txt test/06-pron.txt > output.txt
 - 正解:test/06-pronword.txt



演習課題

- プログラムを実行
 - train-bigram.py data/wiki-ja-train.word > lm.txt
 - train-hmm.py data/wiki-ja-train.pronword > tm.txt
 - kkc.py lm.txt tm.txt data/wiki-ja-test.pron > output.txt
- 変換精度を評価 script/gradekkc.pl data/wiki-ja-test.word output.txt
- 精度を報告(F値)
- 上級編:
 - 最も頻繁に起こる誤りを分析する
 - 大きなコーパスに対して KyTea を使って読みを推定し、 大きなデータによる変換精度の向上を考察する